

## 2022(令和 4)年度 事業計画

### 1. 学会活動・運営の基盤強化

公益社団法人に相応しい社会に貢献する学術法人として、理事会が中心となって、目的とする公益事業推進のための体制を構築し、維持し、改革を進める。

- (1) 会員増・若手研究者の拡充を図る。
- (2) 他事業団体との協働で学術研究・啓蒙活動・人材育成を推進する。
- (3) 事業・経費を見直して運営を効率化する。
- (4) 寄附金の積極的受け入れを図る。

### 2. 各種事業計画概要

#### (1) 会誌、学術刊行物の編集・発行

- ・ 会誌「ビタミン」の編集、審査等を厳正に行ない、年 11 回発行(1 月～12 月を 1 巻)する。
- ・ 公益社団法人日本栄養・食糧学会、FANS と共同編集して JNSV(英文誌)を年 6 回発行する。

#### (2) 年次大会、学術講演会

##### ① 2022 年度第 74 回大会

会 期: 2022 年 6 月 25 日(土)～26 日(日)

会 場: 福岡大学

大会委員長: 高田 二郎(福岡大学薬学部 教授)

テ ー マ: 「ビタミン製剤の過去・現在・未来 ―ビタミンを上手に使う―」

主要プログラム

一般演題発表	73 演題
学会賞等受賞講演	5 演題
特別講演	6 演題
基調講演	1 演題
シンポジウム	9 演題

##### ② 2022 年度市民公開講座

開 催 日: 2022 年 11 月 12 日(土)

会 場: かがわ国際会議場

実行委員長: 上田 夏生(香川大学教授)

テ ー マ: 「人生 100 年時代のビタミン学 ～子ども、若者から高齢者まで～」

講 演: 「骨粗鬆症予防のためのビタミン」

竹谷豊(徳島大学教授)

「健康と若さを保つ脂溶性ビタミン」

藤原葉子(お茶の水女子大学教授)

「熟年からはじまるビタミン B<sub>12</sub> 欠乏症とその予防法」

渡邊文雄(鳥取大学教授)

(3) 地区部会活動

- ・ 地区を東日本、西日本に分け、隔年での持ち回りの地方大会を計画中である。

(4) 他事業団体との協働事業

- ・ 支部活動の活性化の一環として、他の学会・支部との共催により研究発表会を開催する。
- ・ 日本栄養学学会との連携  
第 22 回国際栄養学会議 22nd IUNS-ICN2022 共催シンポジウム  
日 時: 2022 年 12 月 9 日 8 時 30 分～10 時(予定)  
テ ー マ: Emergence of novel functions of vitamins for the prevention  
of life-style related diseases  
座 長: 白川 仁(東北大学)他

(5) 国際交流活動

第 22 回国際栄養学会議 22nd IUNS-ICN2022  
会 期: 2022 年 12 月 6 日(火)～12 月 11 日(日)  
会 場: 東京国際フォーラム

(6) 学術・広報活動

- ・ ホームページに掲載している Q&A コーナーを充実させる。
- ・ 各種事業の案内・募集等を、ホームページに掲載する。
- ・ 他学会との連携を深め、広報活動を行う。

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1) 2022 年度表彰授与式(2022 年度総会時)

学会賞 2 件、奨励賞 2 件、企画・技術・活動賞 1 件、功績者 3 名

(2) 学生優秀発表賞

年次大会において、学生会員の一般演題発表者の中で優秀な発表を行った者に対して授与する。

(3) 若手海外優秀発表賞

国際学会等で優秀な発表をした若手研究者を顕彰する。対象は、2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日に開催された国際学会等である。

(4) トピックス貢献賞

学会誌 96 巻において、会誌の充実及びビタミン学研究所の進歩・発展のため貢献度の高いトピックスを投稿した研究者に対し賞を授ける。

4. 助成事業

(1) 第 22 回国際栄養学会議(IUNS-ICN 2022)セッションへの協力支援金

(2) 国際学会への参加支援

以上